

2025 年 学校関係者評価

報告書

(2024 年度)

学校法人滋慶学園

福岡ベルエポック美容専門学校

作成日：2025 年 5 月 26 日

学校法人 滋慶学園 福岡ベルエポック美容専門学校
2025 年 学校関係者評価委員会議事録

1. 開催日時：2025 年 5 月 26 日(月)

2. 開催場所：福岡ベルエポック美容専門学校

3. 委員：学校関係者評価委員 ※敬称略

仲島 遙	卒業生代表（ヘアメイク科）
田中 眞太郎	高校関係者（九州産業大学付属九州高等学校 学校長）
春山 大輔	近隣関係者代表（大浜自治協議会 大浜祭り委員会 委員長）
松田 秀則	業界代表（有限会社出雲園 取締役）
西 純治	業界代表（株式会社 fifth 執行役員）
池見 未来	保護者代表（ヘアメイク科）

学校職員

田中 浩一	福岡ベルエポック美容専門学校	学校長
鈴木 絵理	〃	事務局長
水谷 将也	〃	教務部長代理
柴田 薫	〃	美容師科学科長
古閑 亮一	〃	トータルビューティ科学科長
岩永 宙也	〃	ヘアメイク科学科長
有田 まどか	〃	高等課程美容科学科長
加藤 真也	〃	キャリアセンター長
横山 七美	〃	広報副センター長

4. 会議の概要

（1）学校長挨拶

学校関係の方、業界の方、保護者の方、地域の方などに来ていただいて、忌憚のないご意見をいただく会である。

高等課程については、「好きを学ぶ、職業教育をしていく」目的のもと初の卒業生を輩出した。美容師国家試験も高い合格率を出すことができ、多くの美容人を輩出することができた。ご意見をいただきながら育成していきたい。

（2）評価委員のご紹介並びに学校側出席者の紹介

5. 2023 年度の自己評価項目と評価内容

<教育理念>

実学教育・人間教育・国際教育 育成人材像「職業人教育を通して社会に貢献する」

<学校運営>

毎年、事業計画を作成している。事業計画は、目的・方針・目標・計画・組織図・職務分掌・収支予算書などで構成されている。

また、本校は新年度にスタート式を行い、教育理念、学校運営方針の意思疎通を図っている。それに基づいて、組織力、実行力強化のスタッフの配置、運営を行っている。

職員の育成にも非常に力を入れて取り組んだ。

<教育活動>

学生便覧、科目単位一覧、授業シラバスを作成ししっかり学生に明示している。教育の満足度に関しては、授業アンケートをシステムで一元管理して学生に対して実施していくことができるように改善された。足りない部分があればすぐに改善していけるよう迅速な対応ができるようになった。

<教育成果>

・国家試験対策センターによるサポートや、近隣他校と合同で模擬試験などを実施し、自分自身のレベルを認識させる行動変容を起こさせた。これにより学生の意識が高まり、国家試験合格率の向上につながった。

高等課程についても、高い合格率を出すことができた。筆記試験については個別指導の成果もあり 100%で合格することができた。

全体受験者最終結果⇒筆記 99% 実技 97%

・学内・学外での研修、会議の実施

職員の教育力、マネジメント力を上げる研修会議を実施した。

・就職において質の高い就職先に内定できている。課題は離職と企業とのマッチング。昨年より就職数については向上している。キャリアセンターと連携して就職まで導いていく。

・カミカリスマ（ミシュランの美容師版のようなもの）に認定されている卒業生も多数輩出している。SNS についての学びも取り入れ、在学中より継続することで、人気の美容師をして活躍している。卒業生による特別授業を通して、トップ層教育がしっかりできている。

・ヘアメイクとして東京で活躍している卒業生がどんどん増えてきている。エンタメ業界で多数活躍してくれている。

・美容部員として近隣の店舗で店長クラスが増えている。DIOR、MAC、YSL などトップブランドに多数輩出している。他、ファッション、エステ、ネイルなど多くの卒業生を輩出しておりそのような方々による特別授業も実施しトップ層教育ができている。

<学生支援>

滋慶トータルサポートセンターには心理面の専門カウンセラーがおり、学生がいつでも

気軽に相談できる体制が整っている。

慶生会クリニックは、滋慶学園のスケールメリットのひとつ。学生が内科と歯科をいつでも受診でき、特に一人暮らしの学生のサポートに役立っている。

寮も学園グループ傘下の寮を完備している。

進路変更サポート制度もある。進路アドバイザーの資格を持った職員がおり、急な進路変更も最後までしっかりサポートできるようにしている。

また、職員の学生サポート研修を行い学生のサポートのスキル向上も図っている。

JESC キャリアサポートアンケートの実施により、学生の学習、キャリア、生活の不安を把握して安心して学びができる環境を整えている。

・保護者会・授業参観の実施

保護者様と学校が連携して学生のサポートが行えるようにしている。

・同窓会をコロナ禍以来、数年ぶりに実施した。また東京で活躍するヘアメイク卒業生を対象に東京でも同窓会を実施し、卒業生とのつながりを強めている。業界との連携という点でも重要視している。

卒業生による特別ゼミは在校生のモチベーションにも有効に働いている。これからも数多く実施していきたいと考えている。

<教育環境>

トレンドの変化、業界の変化に合わせて教室環境や教材も整備している。

また、有事や学生の急な体調のトラブルにも防災訓練や AED 講習を行い備えている。

・現場実習の機会を多く設けている。ヘアメイクでは実践的な学びとして事前教育からしっかり行い、現場に出ていくための教育を行っている。

<広報活動>

昨年過去最高の入学者数であった。良い教育をしっかり広報し、学生確保が教育の質の向上につながるようにしていきたいと考えている。

<財務>

事業計画に当該年度と 5 か年の予算を決定。

学校と本部で予算収支管理を行う。学園本部、理事会・評議会から承認を受け運営。

法人として HP 上に情報公開。

アドミッションポリシーに沿った選考を行い、適正な学納金にて運営している。

<法令等の遵守>

学園本部が中心となって行っている。外部による監査実施。

個人情報保護について全職員が受講、認証を受け、毎年更新し法改正、事例を学ぶ。

HP 上の情報公開だけでなく、広く認知するよう SNS 等も活用し、積極的に教育の見える化を行っている。

<社会貢献>

定期清掃実施等、地域活動を強めている。

地域の信頼の獲得もできるように活動していく。

6. 委員の皆様よりご質問、ご意見

・美容業界は離職率が高い。入社後のギャップをなくすために、学生時代からリアルなことを伝えてほしい。ライフプランニング、資産形成の面でも現実的なキャリアサポートをやってもらえるとより良い。今自分が受けている授業にどうつながるのかや、授業への向き合い方も自分自身で振り返ることに繋がると思う。

→在学中から入社後のギャップを少なくなるよう行事、動機付けを行うことで、減ってきている。また給与形態が特殊な職業もあるため、マネー教育実施や、東京で活動するヘアメイク卒業生には卒業後2年間の家賃サポートをしており、離職支援にもつながっている。

・高校では、探究活動としてライフプランの探求を行っている。教員が教えるのではなく、自分自身で情報を取りに行く姿勢を身に付けさせた方が良いのでは。解を見つける、だけでなく問さえも自身で考えさせた方が良い。離職は給与面だけではなく、自分のやりたいことができているかどうかの方が関係しているのではないかと。AIも活用方法を自分自身で見出していくことが重要。

・人と人はデジタルではなく、アナログのコミュニケーションが大事。学生が美化活動などで地域の方とよりコミュニケーション取れたら、学生の教育や心の成長にも繋がっていくのではないと思う。ボランティア活動などの実施を積極的にしていけるとよい。
→近隣の公園でのポイ捨てのごみが多く、地域貢献活動として学園全体で清掃活動を行っていく予定。

・組織、仕組みなど、スケールメリットをととても感じた。高校でも職員研修を行ったが、大学の違い、専門学校の違いなどを高校教員が理解することが高校生の進路学習に非常に大事だと感じた。今年度から高校で私服の日を設ける。規則はないが、マナーはある。制服は今まで通り厳罰化もあるが、私服の日はない。自分自身で高校に来るときの服はマナー等、適正か、そのようなことも自分で考えることが非常に重要だと感じている。

・保護者はしっかりサポートしたいとは思っているが、どこまでサポートしてあげればいいのか難しい。専門学生になって自分自身で行動できる分、子の活動範囲が見えないのが不安。一緒に学校と支えていければいいと思っている。

・ヘアメイクは、美容室などのように明確な求人が出るわけではないので、不安がとても多かった。就職説明会は1年生の終わりごろから始まっていくがはじめからヘアメイクの就職についてもっと説明してあげて不安を解消してあげると学生のヴィジョンが見えていくのではないと思う。ギャラの相場やヘアメイク業界のリアルを卒業生にアンケート取ったりして、学生に見える化するなど、自分は在学中にとってもリアルなヘアメイクの内情を見たいと思っていた。

・天神の美容室は横のつながりが強い。美容室で協同して若い子の活躍の場を広げる動きが増えている。まだ形にはなっていないが、美容学校の中で塾のようなものを開催す

るのも良いなと複数サロンで毎月話合いをしている。来年の春に向けて始動中なので、何かご提案できればと思っている。

7. 閉会の挨拶

田中：貴重なご意見を多数いただいた。しっかり今後の学校運営に活かしていきたいと思っている。

以上